

ぱれっと

Palette

8

2023 August
vol.276

特集 第23回通常総代会 令和4年度事業報告／要約版

農を担う
ブドウ農家 入野 龍之助 さん
建部地区…………… 10ページ

今月の折り込み

令和5年度一般果樹苗木注文申込書
2023年8月号カタログショッピングチラシ

ほか



各議案を審議する総代

第23回通常総代会 全議案を可決承認

当JAは6月28日、岡山コンベンションセンターで第23回通常総代会を開催しました。総代数488名のうち、436名（本人出席150名、代理人出席0名、書面出席286名）の出席がありました。

総代会では「令和4年度事業報告及び剰余金処分案の承認について」、「令和5年度事業計画の設定について」、「定款、定款附属書総代選挙規程の一部変更について」、「経営管理委員、理事、監事の報酬の決定について」、の全4議案が審議され、全て原案通り承認されました。次ページからは令和4年度事業報告の要約、主な事業の活動内容と取組結果についてご報告します。



あいさつをする宮武博経営管理委員会会長



岸本佳明総代（藤田）（左）と祇園美直総代（呂久）（右）

令和4年度事業報告／要約版

主な事業の活動内容と取組結果についてご報告させていただきます。

令和4年度は、「不断の自己改

革」の基本目標である「農業者の所得増大」「農産生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け、新たに策定した「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」を中心とする「中期計画」の実践初年度として、事業方針に沿った活動に取り組みました。

各事業の取組成果は、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進む一方で、日銀のマインナス金利政策の長期化や不安定な国際情勢によるエネルギー価格の高騰などの影響により、依然として厳しい経営環境ではありましたが、組合員・利用者の皆さまの事業活動に対するご理解・ご協力と経費見直しに継続して取り組んだ結果、収支面では事業利益、経常利益ともに計画に対して上回る結果となりました。

損益計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位:千円

科目	金額	科目	金額
事業総利益	7,763,060	事業外収益	745,099
信用事業総利益	3,955,810	事業外費用	104,390
共済事業総利益	2,068,373	経常利益	914,237
購買事業総利益	571,266	特別利益	1,169
販売事業総利益	460,796	特別損失	325,118
保管事業総利益	87,497	税引前当期利益	590,288
利用事業総利益	488,195	法人税等合計	82,149
宅地等供給事業総利益	107,368	当期剰余金	508,139
旅行事業総利益	3,379	当期首繰越剰余金	510,208
福祉事業総損失	59	リスク管理対応積立金目的取崩額	146,665
農用地利用調整事業総利益	2,371	営農振興対策積立金目的取崩額	10,423
指導事業収支差額	18,063	土地再評価差額金取崩額	132,354
事業管理費	7,489,532	当期末処分剰余金	1,307,789
人件費	4,984,664		
業務費	900,998		
諸税負担金	249,092		
施設費	1,286,950		
その他事業管理費	67,827		
事業利益	273,528		

剰余金処分

単位:千円

科目	金額
1.当期末処分剰余金	1,307,789
2.剰余金処分額	862,628
(1)利益準備金	260,000
(2)任意積立金	395,559
(うちリスク管理対応積立金)	326,988
(うち施設整備強化積立金)	30,000
(うち指導事業強化積立金)	10,000
(うち営農振興対策積立金)	10,423
(うち電算情報システム開発積立金)	10,000
(うち宅地等供給事業積立金)	8,149
(3)出資配当金	207,069
3.次期繰越剰余金	445,161

(注)

- 出資配当は年2.0%の割合です。ただし、出資配当の対象は当組合定款第76条第4項の規定によります。
- 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用(いわゆる教育情報繰越金)に充てるための繰越額26,000千円が含まれています。
- 損益計算書および剰余金処分の記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しています。そのため、内訳金額を合計した金額が合計欄記載の金額と一致しない場合があります。

指導事業

【営農活動】

「営農振興計画」に基づき、農畜産物の生産振興ならびに営農指導機能の強化・充実を図るとともに、「営農振興支援事業」を活用し、担い手経営体の育成・支援による産地の維持・発展に取り組みました。

① 営農指導

本所・営農センター間の営農活動にかかる情報共有と連携を図るとともに、「担い手農家」等への訪問活動の強化に努めました。

② 農畜産物の生産振興

ドローンによる水稻の葉色診断や麦の土壌診断を実施し、高品質・安定生産に向けた生産振興に取り組むとともに、「営農振興支援事業」の活用による振興品目の作付推進と、新改植を含めた面積拡大を図りました。

③ 担い手の確保・育成および産地の活性化

「就農促進トータルサポート事

業」等への取り組み、もも農業塾、ぶどう農業塾をはじめとする各種栽培講習会による農業生産基盤の底辺拡大、1日農業バイトアプリを活用した農作業支援や農作業の魅力発信を行いました。

【生活活動】

「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指して、女性部との連携により各種生活文化活動や食農教育に取り組みました。

【相談活動】

税理士による税務相談会や所得税および消費税の確定申告支援を実施するなど、JA岡山青色申告会を基軸とした税務相談活動に取り組みました。

【広報活動】

広報誌「ぱれっと」、「笑味ちゃん天気予報」、ホームページ等への情報掲載、「JA岡山アンバサダー」によるSNS活動などを通じて、JA事業や農業生活文化活動への取り組みについて情報発信を行いました。

購買事業

肥料・農薬等の計画的な仕入れと予約購買を基軸とした商品の安定供給に努めるとともに、肥料大口購入先への農家直送や低コスト肥料の提案等による生産コストの低減に取り組みました。また、住宅リフォーム・シロアリ防除・電化製品・美術品・石碑等の提案や展示会を開催しました。

販売事業

生産から販売までをキーワードに多様化する実需者ニーズへの対応と安全・安心な農畜産物の安定供給体制の確立を基本とし、関係機関との連携強化による有利販売やPR活動を行い、管内農畜産物の認知度向上に努め、農家所得の向上に取り組みました。

保管事業

準低温・低温倉庫に集約保管を行い、倉庫の効率的な運用と適正な保管管理に努めました。

信用事業

多様化する農業くらし・地域の各領域において、JAの特色を活かした金融仲介機能の発揮に取り組むとともに、組合員・利用者の皆さまから信頼される金融機関として、持続可能な収益性・将来にわたる健全性の確保に努めました。

【金融仲介機能の発揮】

農業・地域に根差した金融機関として、様々な農業資金や生活資金・ニーズへの対応・強化に取り組むとともに、資産の有効活用および継承支援にかかる資金需要等への相談対応など金融仲介機能の発揮に努めました。

【組合員・利用者満足度向上の実践】

組合員・利用者の皆さまへのライフプランに関するさまざまなニーズに応える金融商品の充実に努めるとともに、ローン・年金等各種相談会を開催しました。

【収益性・健全性の確保】

貸出取引等について厳正な資

資産活用として賃貸住宅・店舗建設等の斡旋に取り組みました。

旅行事業

新型コロナウイルス感染防止対策など、安全・安心に配慮し、「県民割」や「全国旅行支援」を活用した旅行商品等の提供を行いました。

高齢者福祉事業

助け合いの会「かがやき」協力会員によるサロン・地域の茶の間「みんなのお家」を開催し、生きがいと交流の場の提供に取り組みました。

農用地利用調整事業

耕作放棄地の発生防止ならびに担い手への農地集積促進のため、「農業作業受委託事業」による農作業支援に取り組むとともに、「農地利用集積円滑化事業」では、岡山県農地中間管理機構との連携を図りながら農地の流動化に取り組みました。

産の自己査定を実施し、財務の健全性と安定収益の確保に努めました。また、各種研修会・巡回指導の実施を通じて、不祥事・事務ミス等の未然防止など事務堅確性向上に取り組みました。

共済事業

組合員・利用者の皆さまへ、「安心と満足」をお届けし続けるために、持続可能な経営基盤の確立・強化を図りました。

【相談・普及活動】

「3Q訪問3Qコール活動」を実践し、組合員・全契約者の皆さまに寄り添った保障提案活動に取り組みました。また、SDGsへの取り組みとして、地域貢献活動を通じて、組合員・地域住民の皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりの実践に取り組みました。

【審査・査定・保全業務】

新契約の引受、共済金の支払処理の迅速化・適正化に努めました。

管理監査

内部統制の確立と不祥事未然防止への取り組み、役職員のコンプライアンス意識の醸成を図るとともに、内部監査を実施し、事務処理の適正化に取り組みました。また、施設整備計画に基づき、支所等の改修工事等、組合所有施設の整備を行いました。



本記事では概略をご報告させていただきました。詳細については、各支所・営農センターへ備え置いております【通常総代会資料】および【ディスクロージャー誌】または、JA岡山ホームページにて公開しております【ディスクロージャー資料】をご確認ください。



農業について思いを話す入野さん

祖父の代からブドウの栽培をしています。子どもの頃から父の仕事を見ていたり、ハウスの中でよく遊んでおり、常にブドウが自分の近くにあったと思います。

今から4年前の西日本豪雨で、ブドウが流された地区があり、それでも農家の方が頑張って再建し、またブドウを作り始めるところを見ています。

**自分がやらなきゃ
自分にしかできない。**

―就農したきっかけは

6月19日、建部地区の入野龍之助さんにお話を伺いました。

シャインマスカットの迫力を見てもらいたい

入野 龍之助さん

建部地区：「ブドウ」農家

「いりの りゅうのすけ」

1987年生まれ。JA岡山温室ぶどう部会。「シャインマスカット」を栽培。趣味はバスケットボール。座右の銘は「温故知新」。



ると、自分の目の前にあるブドウが当たり前風景ではないような気がし、ブドウ畑をなくすことはできないと思いました。

そこで、この仕事は「自分がやらなければどうするんだ。自分にしかできない」という気持ちになり、7年間勤務した職場を辞めて、ブドウを作ることを決心しました。30歳の時でした。

―農業を始めてからは

今年で4年目になりますが、苦勞の連続です。ブドウは、一年に一回しかできない作物です。去年と同じことをしても今年同じものができるとは限りません。

ブドウは生き物なので、天候によって成長が左右され、それによって作業が変わってきます。ブドウの変化を見極めて、どの様に対応するか予め準備をしてもその通りにならないことばかりで大変です。これからさらに経験を積んで美味しいブドウを作ります。

―栽培上でのこだわりは

シャインマスカットは、種がなく皮ごと食べられて、甘くて食べ応え

があるのが人気です。

味はもちろんですが、何といってもこの「迫力」だと思っっています。粒ぞろい・色・形・房の大きさです。

ブドウを作り上げるまで様々な工程があるなかで、自分のイメージしたブドウに仕上げたいという気持ちがあるのも、今は、人を雇うことなく父と2人で、綺麗な形に仕上げるために、一粒一粒、丁寧に整えています。

シャインマスカットの魅力を一言でいうと「見て美味しい、食べて美味しい」です。

地域の農業を盛り上げたい。

―今後の抱負は

一人で農業をすることは難しいので、仲間を集めて法人化も考えています。

地域の生産者、若い担い手が集まってブドウ作りだけでなく、農業を通じてこの地域をさらに盛り上げたいと思います。

聞き手…JA岡山広報担当



ハウスごとに成育を管理



見て美味しい、食べて美味しいシャインマスカットの迫力

果樹

8月は夏果実の収穫時期になります



営農部指導課 武田 祐一

8月はモモやブドウ、梨、イチジク、ブルーベリー等の夏果実の収穫時期になります。これまでに愛情を注いで育てた果実がようやく成熟します。一方で、樹が来年に向けて貯蔵養分を蓄積する時期になりますので、収穫後の管理にも力を入れていきましょう。

また、秋果実は最後の追い込み時期なので気を抜かず管理し、収穫期を迎えましょう。

ブドウの管理 ●ピオーネの収穫・収穫後の管理

ピオーネは果粒の軟化期から約40日で収穫適期になります。ブドウの果粒は房先よりも肩の方が糖度が高いため、収穫する前に房先の粒を試食して、糖度、酸抜きの具合や食味を確認しましょう(資料7)。トンネル栽培は、県南部は8月下旬ごろ、9月にかけ収穫されます。

収穫期は鳥による被害を受けやすいので、防鳥ネット等を設置し、被害を未然に防ぎます。

また、収穫後には枝管理を合わせて行いましょう。無摘心の場合、来年度に蓄える養分が無駄に使用されてしまいます。貯蔵養分不足になると翌年の初期生育が悪くなります。元葉の傷みが少ない場合は2週間に一度の間隔で再伸長部の摘みや切除を繰り返して行い、残っている本葉や副梢の葉を維持します。新梢の先端部を1〜2節で切り返し、2番枝の発生部位を切り取っておきます。

収穫後は「ありがとう」の気持ちをこめて礼肥を与えてやりましょう。使用する肥料は速効性の化成肥料が適しています。病害虫が発生している場合は防除暦を参考に防除しましょう。

(例)モモ、ブドウなどに礼肥として「ヨロップ化成S604」などを使用する場合、1樹あたり1kg程度を施します(資料8)。施用後は土と軽く混ぜ合わせ、灌水を行います。

モモの管理 ●モモの収穫後の枝管理

清水白桃の収穫時期は8月上旬ごろには終了し一段落しますが、モモハモグリガやせん孔細菌病等に侵されると早期落葉し、枝の充実が悪くなります。礼肥を施用して秋根の伸長を促進すると共に収穫後の防除を行います。懐の徒長枝が混み合うようであれば整理し、基部10cm程度残し、切除します(秋は枝が急激に太るので秋季剪定を9月上旬までに実施します)。

柿の管理 ●病害虫防除

カキノヘタムシガは、平年であれば6月と8月の年2回発生します。

6月に被害が多発した場合は8月も発生が多くなるので注意が必要です。7月下旬〜8月上旬にかけて防除を徹底しましょう。防除薬剤としては、殺虫剤のスミチオン乳剤1,000倍液(収穫30日前まで)又は、オルトラン(ルジェイエース水溶剤)水和剤1,500倍液(収穫45日前まで)又は、ダントツ水溶剤4,000倍液(収穫7日前まで)に殺菌剤のトップジンM水和剤1,500倍液を加用すると、炭そ病・うどんこ病の同時防除をすることが出来ます。

梨の管理 ●病害虫防除

土壌が乾燥し過ぎると果実肥大が劣り、果肉硬化、煮え果等果肉障害が発生します。梅雨明け後、高温乾燥が7日以上続いたら灌水を始め、7日間隔で十分灌水を行います。8月の灌水が大変重要で、果実肥大や果肉障害に大きく影響する時期ですので注意しましょう。

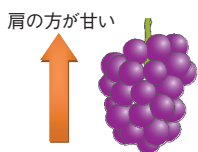
ビワの管理 ●ビワの剪定

ビワは品種によって樹形が変わってきます。茂木など枝が真上に伸びる品種は、横に伸びる枝を残すよう資料9のように「変則主幹形」(幹を2〜3層の高さで切り落とす。横に広がる枝は3〜4本、左右互い違いになるよう配置します。横に伸びる枝の間隔は、30〜45cm程度空けるとよいでしょう)に仕立てます。一方、田中など枝が横に広がる品種は「盃状形」に仕立てます。それぞれの品種に合った樹形が完成したら、混み合った枝を間引いて、木の内側にも日光が当たるようにします。その年に伸びた枝の先端付近に花芽が付くので、剪定時に切り落とさないよう注意しましょう。また、太い枝(500円玉以上の太さ)を剪定した後は切り口が傷みやすく、そこから病気になることもあり。切り口を保護するために、癒合剤のトップジンMペーストを塗布しましょう。

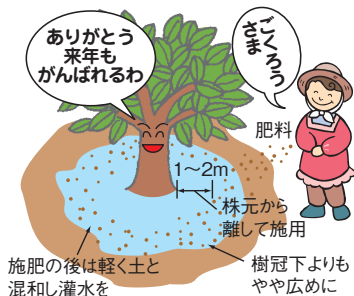
ビワは木の育ち具合で剪定期間が変わります。

〔ビワの果実がまだ未結実な段階〕
未結実の若木の時期は、2月ごろに剪

資料7 ぶどうの糖度上昇



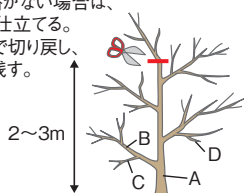
資料8 礼肥の施用方法



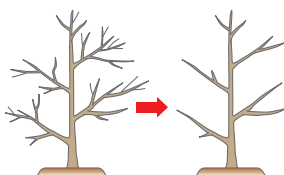
資料9 変則主幹形

スペースに余裕がない場合は、変則主幹形に仕立てる。主幹を2〜3mで切り戻し、適当な横枝を残す。

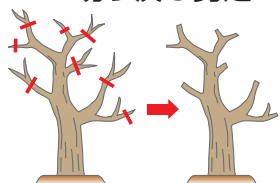
- A: 主幹
- B: 主枝
- C: 亜主枝
- D: 側枝



資料10 間引き剪定



切り戻し剪定



資料11 誘引



定を行います。この時期は花が咲いているので、間違えて切らないよう花の近くを避けて剪定します。

〔ビワの果実が成り始めてからの剪定〕
結実し始めた木の剪定は、8月下旬〜9月ごろが最適です。特に蕾が大きくなる前の9月上旬ごろに行くと木への負担が少ないです。着果過多になると栄養が分散して味が悪くなるので、着果量のコントロールが主な目的となります。

3月以降になつたら、太い枝を切るなどの強剪定は避けましょう。ビワの生長が悪くなり、果実の結実に悪影響を及ぼします。

●ビワは間引き剪定と切り戻し剪定が基本
間引き剪定とは、資料10のように枝を根元の部分から切り落とす手法です。密集し過ぎた枝や病害虫のある枝などの不要部分を切除します。間引き剪定をするると日当たりや風通しが改善され、ビワの生長がよくなります。

切り戻し剪定とは、伸びた枝を途中で切り形を整える方法です。主な目的は樹形や大きなコントリールです。ビワが大木になり過ぎて隣地にはみ出す場合に切り戻し剪定が有効です。

※ビワを縮小したい場合は切り戻し剪定と誘引
大木に育ったビワを小さくしたい場合は、3年かけて剪定しながら誘引(樹勢を落着かせ花芽を着生させるため)して樹高を低くしていきます(資料11)。一度にバツサリ太い枝を切ってしまうと、株に大きなストレスがかかり、果実が成らなくなったり枯れてしまう恐れがあります(枝が減った分、果実より枝葉の生長に栄養を使用するため結実しない)。



トマトとり丼

材料 (2人分)

ご飯	1合
鶏肉	120g
トマト	2/3個
タマネギ	1/3個
しめじ	7本程度
バジル	10枚
黒コショウ	少々
卵	2個

<調味料A>

水	160cc
白だし	大さじ2強
みりん	大さじ2強
醤油	小さじ1弱

<トッピング>

トマト	適量
バジル	少々

- ① トマトは角切り、玉ねぎは短めで薄いくし切り、しめじは石づきを取ってほぐし、鶏肉は食べやすい大きさに細かく切る。バジルは葉の部分を1cm幅に切る。
- ② <調味料A>をフライパンに入れ、火にかける。鶏肉、玉ねぎ、バジルを入れて火を通す。
- ③ 鶏肉、玉ねぎに火が通ったらトマトとしめじを加え、少し煮込む。
- ④ ③に溶き卵を回し入れて蓋をし、半熟になるまで火を通す。
- ⑤ ご飯の上に④のをせてからトッピング用のトマト (1cm程度の角切り) を飾る。
お好みでバジルを飾ったり、粉末バジル、黒こしょうをかけてもよい。

Point!

- ・鶏肉は親鶏を使っていた方がだしが良く出てより一層コクが出ます。
- ・バジルはお好みで増減してください。食べる時にバジルの粉末をかけるとより一層風味豊かに食べられます。



牟佐の大久保地区のひまわり畑

今回のあぐろグラムでは岡山市北区牟佐の大久保地区のひまわり畑を紹介いたします。

7月下旬から8月中旬にかけて一面に広がるひまわり畑は、2018年の西日本豪雨災害での被災をきっかけに、近隣で黄ニラ栽培を営む地域の農業者の方と町内会で運営しています。令和5年は60aでの畑でひまわりを植えています。

発起人の農業者の方は、今後も活動を継続し、地域の活性化につなげたいと話しています。

※ひまわり畑周辺は、道幅の狭い生活道路です。JR津山線での来場をお願いいたします。(牧山駅下車) ひまわり畑及び牧山駅周辺への路上駐車は近隣の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。

編集担当 弘末 彩香



各種媒体で情報発信



オンラインショップ
はなやか
オンライン



Instagram



Twitter



YouTube

